

学会成果報告書

学会名	第 55 回日本腎臓学会西部学術大会		
大会長所属	奈良県立医科大学腎臓内科学 教授		
大会長氏名	鶴屋 和彦		
テーマ	EBMに基づく臨床腎臓病学～臨床データからの病態解明を目指して		
開催日	2025年10月11日(土)・12日(日)	参加人数	2,042名
場所	奈良県コンベンションセンター		
学会サマリー			
第 55 回日本腎臓学会西部学術大会を以下にて開催いたしました。			
【会期】 令和 7 年 10 月 11 日 (土)・12 日 (日)			
【会場】 奈良県コンベンションセンター			
【プログラム概要】			
●大会長講演 1 題：演者：鶴屋和彦（奈良県立医科大学腎臓内科学）			
●招請講演 2 題：演者：武富紹信（一般社団法人日本外科学会理事長）、二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野）			
●特別講演 1 題：演者：平岡慎紹（東大寺福祉事業団 常任理事）			
●シンポジウム 8 題			
①シンポジウム 1: アミノ酸は腎疾患の次の治療標的となるか			
②シンポジウム 2: 臨床研究デザインアップデート			
③シンポジウム 3: SGLT2 阻害薬基礎研究 up to date			
④シンポジウム 4: 臨床研究フロンティア			
⑤シンポジウム 5: 糖尿病関連腎臓病 (DKD) の新たな展望 ～臨床と基礎研究の融合～			
⑥シンポジウム 6: 腎移植の流れを知ろう			
⑦シンポジウム 7: 小林製薬紅麹サプリの起こした腎毒性ー令和のマイコトキシン腎症ー			
⑧シンポジウム 8: 各地域での CKD 診療における多職種連携の促進と活性化のための腎臓病療養指導士をはじめとした様々な職種の活動（腎臓病療養指導士企画）			
●教育講演 14 題			
●研究倫理・医療倫理に関する研修会 1 企画			
●ダイバーシティ推進委員会企画 1 企画			
●腎病理企画 1 企画			
●学生・研修医のための教育セミナー1 企画			
●クイズ企画 1 企画			
●一般演題 69 企画（口演 47 企画、ポスター22 企画）			
【その他】			
学生や初期研修医にも積極的に参加を呼びかけ、腎臓病学の魅力伝える取り組みを行った結果、若手の参加促進にも一定の成果がみられた。			